

.生産スケジューラ PlanWizard Ver9.0 から Ver10.0 までのバージョンアップ詳細履歴
[株式会社ウィザードシステム研究所](#)

弊社ユーザー様のご要望等を踏まえながら、常に最新の生産スケジューリング技術を開発しております。

Ver10.0 4 Ver10.0 (H13.10.25)

(追加・改良)

(1) 以下のマクロコマンドを追加

「M_INDIV_RESOURCE_OPEN」

書式：M_INDIV_RESOURCE_OPEN <省略可：引数1 引数2 引数3 引数4>

引数1：ウィンドウ X 座標、引数2：ウィンドウ Y 座標、引数3：幅、引数4：高さ

[マスター] - [個別管理リソースマスター編集] コマンドを実行します。

(2) 以下のマクロコマンドを追加

「CAL_INDIV_RESOURCE_OPEN」

書式：M_INDIV_RESOURCE_OPEN <省略可：引数1 引数2>

引数1：ウィンドウ X 座標、引数2：ウィンドウ Y 座標

[資源計画] - [カレンダー] - [個別管理リソースカレンダー編集] コマンドを実行します。

(3) 以下のマクロコマンドを追加

「INDIV_RESOURCE_GANT_CHART_OPEN」

書式：INDIV_RESOURCE_GANT_CHART_OPEN <省略可：引数1 引数2 引数3 引数4>

引数1：ウィンドウ X 座標、引数2：ウィンドウ Y 座標、引数3：幅、引数4：高さ

[グラフ] - [個別管理リソースガントチャート] コマンドを実行します。

(4) 以下のマクロコマンドを追加

「ORDER_EARLY_START_SET」

書式：ORDER_EARLY_START_SET

[生産計画] - [オーダー] - [オーダー最早開始日設定...] コマンドを実行します。

(5) 以下のマクロコマンドを追加

「ORDER_HALF_FINISH_SET」

書式：ORDER_HALF_FINISH_SET

[生産計画] - [オーダー] - [半製品オーダー最遅仕上日設定...] コマンドを実行します。

(6) 以下のマクロコマンドを追加

「CAL_RESOURCE_CREATE」

書式：CAL_RESOURCE_CREATE

[資源計画] - [カレンダー] - [リソースカレンダーの作成...] コマンドを実行します。

(7) 以下のマクロコマンドを追加

「INDIV_JOB_LIST_CREATE」

書式：INDIV_JOB_LIST_CREATE

[資源計画] - [個別管理リソース] - [個別管理リソースジョブ割り当てリストの作成...] コマンドを実行します。

- (8) 以下のマクロコマンドを追加
「INDIV_JOB_LIST_OPEN」
書式：INDIV_JOB_LIST_OPEN <省略可：引数1 引数2 引数3 引数4>
引数1：ウィンドウ X 座標、引数2：ウィンドウ Y 座標、引数3：幅、引数4：高さ
[資源計画] - [個別管理リソース] - [個別管理リソースジョブ割り当てリスト編集...]
コマンドを実行します。
- (9) 以下のマクロコマンドを追加
「ORDER_HALF_SAMPLING」
書式：ORDER_HALF_SAMPLING
[生産計画] - [オーダー] - [半製品オーダー抽出...] コマンドを実行します。
- (10) 以下のマクロコマンドを追加
「ORDER_PRODUCT_SAMPLING」
書式：ORDER_PRODUCT_SAMPLING
[生産計画] - [オーダー] - [製品オーダー抽出...] コマンドを実行します。
- (11) 以下のマクロコマンドを追加
「SERIES_HALF_SAMPLING」
書式：SERIES_HALF_SAMPLING
[生産計画] - [シリーズ] - [半製品シリーズ抽出...] コマンドを実行します。
- (12) 以下のマクロコマンドを追加
「SERIES_PRODUCT_SAMPLING」
書式：SERIES_PRODUCT_SAMPLING
[生産計画] - [シリーズ] - [製品シリーズ抽出...] コマンドを実行します。

Ver10.0 3 Ver10.0 4 (H13.10.16)

(追加・改良)

- (1) 「生産計画 - オーダー - 半製品オーダー抽出」コマンドの追加
オーダーの製品タイプが半製品のもものを抽出します。
- (2) 「生産計画 - オーダー - 製品オーダー抽出」コマンドの追加
オーダーの製品タイプが製品のもものを抽出します。
- (3) 「生産計画 - シリーズ - 半製品シリーズ抽出」コマンドの追加
オーダーの製品タイプが半製品のもものを抽出します。
- (4) 「生産計画 - シリーズ - 製品シリーズ抽出」コマンドの追加
オーダーの製品タイプが製品のもものを抽出します。
- (5) 在庫量グラフ等の表示において、製品在庫管理機能オプションの製品在庫リスト、
製品在庫引当てリストを判断して表示するようにした。
- (6) 在庫グラフ等の各種グラフへ「製品抽出」のメニューを追加
製品を抽出します。
- (7) 在庫グラフ等の各種グラフへ「半製品抽出」のメニューを追加
半製品を抽出します。
- (8) 在庫グラフ等の各種グラフへ「原材料抽出」のメニューを追加

- 原材料を抽出します。
- (9) 在庫グラフ等の各種グラフへ「中間体抽出」のメニューを追加
中間体を抽出します。
 - (10) 在庫グラフ等の各種グラフへ「製品・半製品抽出」のメニューを追加
製品・半製品を抽出します。
 - (11) 在庫グラフ等の各種グラフへ「製品・半製品・原材料抽出」のメニューを追加
製品・半製品・原材料を抽出します。

Ver10.0 2 Ver10.0 3 (H13.10.10)

(追加・改良)

- (1) 初期設定に以下を追加
 - 「スケジューリング画面の割付開始日時が、オーダーの最早開始日より遅い場合は、割付開始日時を優先する」
 - 「Yes」に設定した場合、割付開始日時が入力され、且つ、オーダーの最早開始日より遅い場合は、割付開始日時を優先します。
 - (2) 初期設定に以下を追加
 - 「スケジューリング画面の割付開始日時が、シリーズの最早開始日より遅い場合は、割付開始日時を優先する」
 - 「Yes」に設定した場合、割付開始日時が入力され、且つ、シリーズの最早開始日より遅い場合は、割付開始日時を優先します。
 - ハイブリッド等のスケジューリングで、且つ、割付開始日時を設定する場合は、「Yes」の設定にして下さい。
 - (3) 「資源計画 - 個別管理リソース - 個別管理リソースジョブ割り当てリストの作成」
コマンドの追加
個別管理リソース割り当てリストを作成します。
 - (4) 「資源計画 - 個別管理リソース - 個別管理リソースジョブ割り当てリスト編集」
コマンドの追加
個別管理リソース割り当てリストを開きます。
- (その他)
- (1) 個別管理リソース機能オプション価格の決定 250 万円
発売から一定期間キャンペーン販売 (100 万円) させていただきます。

Ver10.0 1 Ver10.0 2 (H13.10.2)

(追加・改良)

- (1) 「生産計画 - オーダー - 半製品オーダー最遅仕上日設定」コマンドの追加
半製品オーダーの最遅仕上日を使用製品群の着手日より再計算します。
実績完了オーダーは変更されません。
- (2) 「資源計画 - カレンダー - リソースカレンダー作成」コマンドの追加
個別管理リソースカレンダーの情報からリソースカレンダーを作成します。
個別管理リソースカレンダーを編集した後やカレンダー再作成実行後等には

必ず実行して下さい。

- (3) 「スケジュールリング - レポート - グラフ - 個別管理リソースガントチャート」
コマンドを追加
個別管理リソースガントチャートを印刷します。
- (4) 割付優先順位へ「シリーズ生産開始日」を追加
昇順の場合、シリーズ生産開始日の早い方から割付を行います。
ハイブリッドの最終 FW スケジュールリング時の割付順序の設定では、
この項目を昇順にして第一項目として設定して下さい。

Ver10.0 Ver10.0 1 (H13.9.27)

(追加・改良)

- (1) 個別管理リソースガントチャートのプロパティへ「参照 1」タブ追加
- (2) 個別管理リソースガントチャートのプロパティへ「参照 2」タブ追加
- (3) 割付優先順位へ「使用原材料在庫納入予定日」を追加
昇順の場合、使用原材料在庫の納入予定日が早いものから順に割付を行います。
使用原材料がない場合や原材料在庫が引き当たっていない場合は、
一番初めに割り付けられます。
- (4) 割付優先順位へ「製品タイプ」を追加
昇順の場合、半製品から割付を行います。
- (5) 「生産計画 - オーダー - 最早開始日設定」コマンドの追加
引当て原材料在庫の納入予定日からオーダーの最早開始日を設定します。
FW でフロートを無視したい場合等で使用して下さい。

Ver9.360 Ver10.0 (H13.9.21) (Ver10.0 は、H13.10.25 発売開始予定)

(追加・改良)

- (1) 生産数量比例リソース機能を PlanWizard に標準搭載
Light、Basic はオプション扱いです。
- (2) 個別管理リソースマスターを追加 (個別管理リソース機能オプション)
オプション機能がないと開けません。完全なオプション扱いです。
データを設定しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
この機能で個人名管理等が可能になります。
- (3) リソースマスターへ「所属個別管理リソース」フィールド (テーブル型) を追加
データを設定しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (4) 「資源計画 - カレンダー - 個別管理リソースカレンダー編集」コマンドを追加
個別管理リソースカレンダーを開きます。
オプション機能がないと開けません。
- (5) 「グラフ - 個別管理リソースガントチャート」コマンドを追加
個別管理リソースガントチャートを開きます。
オプション機能がないと開けません。
個人名毎等の作業ガントチャートを確認することができます。

Ver9.354 Ver9.362 (H13.9.14)

(追加・改良)

- (1) [資源計画] - [原材料在庫] - [確定ステータスの設定...] コマンドの追加
ロットのステータスが「確定」の場合、原材料在庫引当てリストのステータスを「確定」に設定します。
- (2) [資源計画] - [原材料在庫] - [引当てステータスの設定...] コマンドの追加
ロットのステータスが「着手/完了」の場合、原材料在庫引当てリストのステータスを「引当て」に設定します。
- (3) 以下のマクロコマンドを追加
「MAT_ASSIGN_STATUS_DECISION」
[資源計画] - [原材料在庫] - [確定ステータスの設定...] コマンドを実行します。
- (4) 以下のマクロコマンドを追加
「MAT_ASSIGN_STATUS_ASSIGN」
[資源計画] - [原材料在庫] - [引当てステータスの設定...] コマンドを実行します。

Ver9.348 Ver9.354 (H13.9.10)

(追加・改良)

- (1) 以下のマクロコマンドを追加
「ORDER_ORDER_CREATE」
[生産計画] - [オーダー] - [在庫保存不可原材料の引当て先オーダーの作成...] コマンドを実行します。
- (2) 以下のマクロコマンドを追加
「ORDER_SELECT_DEVIED」
書式：ORDER_SELECT_DEVIED 引数 1 (レコード番号)
[生産計画] - [オーダー] - [オーダー分割] コマンドを実行します。
- (3) 以下のマクロコマンドを追加
「ORDER_LATE_SAMPLING」
[生産計画] - [オーダー] - [納期遅れオーダー抽出...] コマンドを実行します。
- (4) 以下のマクロコマンドを追加
「SERIES_LATE_SAMPLING」
[生産計画] - [シリーズ] - [納期遅れシリーズ抽出...] コマンドを実行します。
- (5) 以下のマクロコマンドを追加
「LOT_LATE_SAMPLING」
[生産計画] - [ロット] - [納期遅れロット抽出...] コマンドを実行します。

Ver9.342 Ver9.348 (H13.9.4)

(追加・改良)

- (1) 「生産計画 - オーダー - 納期遅れオーダー抽出」コマンドの追加
納期遅れオーダーを抽出します。

- (2) 「生産計画 - シリーズ - 納期遅れシリーズ抽出」コマンドの追加
オーダーが納期遅れのシリーズを抽出します。
- (3) 「生産計画 - ロット - 納期遅れロット抽出」コマンドの追加
オーダーが納期遅れのロットを抽出します。

Ver9.331 Ver9.342 (H13.8.31)

(追加・改良)

- (1) 初期設定の「その他 5」タブへ以下を追加
「着手以上の実績が入力されている設備への未確定ロットの割付は実績着手日以降へ行う」
「Yes」を設定すると、FW 割付の未確定のロットの割付は、その設備の着手日以降
となります。(現在のバージョンは、「Yes」に設定した状態です。)
途中工程が正しく実績入力されない場合は、「No」に設定した方が良い場合が
あります。(最終工程のみ実績管理している場合等)
- (2) オーダー分割操作で元のオーダーの「備考 1」～「備考 5」の内容をコピー
するようにした。
- (3) オーダー分割操作で元のシリーズの「備考 1」～「備考 5」の内容をコピー
するようにした。
- (4) オーダーの実績ステータスが「中止」の場合、オーダー取込み時(半製品の場合は
下位データ連動時含む)、大変更・小変更の処理を実施しないようにし、不足分は、
追加オーダーとするようにした。
- (5) 「上位データ連動リスト 原材料在庫リスト」コマンド実行時、ロットの
ステータスを原材料在庫リストへ反映できるように改良した。
- (6) 上位データ連動リストの納入予定数量及び納入予定日のヌルチェックを外した。
ロットステータスの中止対応
- (7) 「生産計画 - オーダー - オーダー分割」コマンドの追加
指定オーダーをロット毎に分割します。

Ver9.320 Ver9.331 (H13.8.20)

(追加・改良)

- (1) 初期設定ダイアログボックスの「バリデーション」タブへ「自動チェックレベル」を追加
スケジューリング等の処理前の自動バリデーション実行時のレベルを設定します。
レベルが高いほどより詳細にチェックしますが、時間もかかります。
- (2) 初期設定ダイアログボックスの「バリデーション」タブへ「手動チェックレベル」を追加
バリデーションチェックダイアログからの実行時のレベルを設定します。
レベルが高いほどより詳細にチェックしますが、時間もかかります。
- (3) オーダーリストのバリデーション強化(レベル 2 対応)
生産パターンと展開シリーズが一致しない場合にエラーとします。
- (4) 代替生産パターン変更時、該当する在庫リストがあれば削除するようにした。
半製品の場合は原材料在庫リスト、製品の場合は製品在庫リストを検索します。
- (5) 原材料マスターへ「生成製品」フィールド(テーブル型)を追加

- データを設定しないで下さい。後日詳細な資料をお送りいたします。
- (6) 「生産計画 - オーダー - 在庫保存不可原材料の引当て先オーダーの作成...」コマンドの追加
 在庫保存が不可な原材料（原材料マスターの在庫保存フィールドが「不可」の設定になっているもの）の引当て先オーダーを作成します。
 現在のバージョンでは、1製品の中に保存不可な原材料（半製品含む）が1つだけの
 場合のみ対応できます。
 後日詳細な資料をお送り致します。使用しないで下さい。
 使用するには、中間在庫管理機能オプション（PlanWizard 標準）が必要です。

Ver9.313 Ver9.320 (H13.8.7)

(追加・改良)

- (1) 原材料マスターに「在庫保存」フィールド（選択タイプ）を追加
 選択リスト: 「可」, 「不可 (Type1)」, 「不可 (Type2)」
 後日詳細な資料をお送り致します。設定を変更しないで下さい。
- (2) ガントチャート特殊文字の追加
 ・「%LLN」 ロットの LotNo(N)を表示します。
 ・「%LLC」 ロットの LotNo(C)を表示します。
 (「%LL」は、自動選択します。尚、LotNo(C)を表示する時は桁数表示します。)
- (3) ガントチャート特殊文字「%LL」, 「%LLN」, 「%LLC」の表示形式の追加
 特殊文字「%LL」, 「%LLN」, 「%LLC」の後に続けて “[R?]” , “[L?]” を指定することにより、LotNo の表示する文字を選択できます。
 (LotNo が「XJL-1235」の場合)
- | | | |
|---|------|------|
| 例 | [R4] | 1235 |
| | [L3] | XJL |

Ver9.302 Ver9.313 (H13.8.1)

(追加・改良)

- (1) 原材料マスターへ「在庫合せ」フィールド（選択: 「可」, 「不可」）を追加
 「不可」を選択すると原材料（半製品含む）の引当ての際に、
 必ず1つの原材料在庫ロットから必要量を引当てます。
 現状は、「可」のみ。（複数の原材料在庫ロットからの引当てを許します。）
- (2) 「初期設定」ダイアログボックスに「システム」タブを追加
- (3) 「初期設定」ダイアログボックスの「システム」タブへ「システム動作モード」を追加
 通常は何も設定しないで下さい。
- (4) 「ダイナミックディスパッチングの設定」ダイアログボックスの「連続性」タブへ
 「同一原材料優先の重み」を追加
 重みが大きいほど同一原材料使用を重要視します。
- (5) 「ダイナミックディスパッチングの設定」ダイアログボックスの「連続性」タブへ
 「同一原材料ロット優先の重み」を追加
 重みが大きいほど同一原材料在庫ロット使用を重要視します。

- (6) 割付設備選択の「重み設定」ダイアログボックスの「連続性」タブへ「同一原材料優先の重み」を追加
重みが大きいほど同一原材料使用を重要視します。
- (7) 割付設備選択の「重み設定」ダイアログボックスの「連続性」タブへ「同一原材料ロット優先の重み」を追加
重みが大きいほど同一原材料在庫ロット使用を重要視します。
- (8) ガントチャートの製品・半製品間の接続線の表示方法の変更
半製品最終工程接続タイプ「SS」は、ロットの開始時間と開始時間を結ぶようにした。
半製品最終工程接続タイプ「FF」は、ロットの開始時間と開始時間を結ぶようにした。
現状は、製品・半製品間の接続線は全て「FS」として表示されていた。

Ver9.287 Ver9.302 (H13.7.26)

(追加・改良)

- (1) 初期設定の「その他 5」タブの「特殊割付ロジック」へ「タイプ 3」を追加
データによっては、スケジューリング時間を大幅に短縮できます。
結果も多少変化する場合もありますが、基本的には「タイプ 1」と同等な結果が得られます。(「タイプ 1」の高速バージョンタイプ)

Ver9.280 Ver9.287 (H13.7.16)

(追加・改良)

- (1) コメントの設備補足フィールドの選択肢に「する」を追加
「する」を選択してスケジューリングするとコメント部分にはオーダーが割付きません。ガントチャート設定後、スケジューリング実行で、コメントの設備補足は、実行されます。
- (2) コメントへ「ワークセンタ」フィールド(リンク型)を追加
次回以降のバージョンアップで使用します。何も設定しないで下さい。
- (3) コメントへ「人数」フィールド(小数型)を追加
次回以降のバージョンアップで使用します。何も設定しないで下さい。
- (4) コメントへ「リソース」フィールド(テーブル型)を追加
次回以降のバージョンアップで使用します。何も設定しないで下さい。
- (5) コメント情報取込、コメント情報転送コマンドのフォーマット変更
上記フィールドが追加されています。
詳しくは、コメント情報転送コマンドを実施して確認して下さい。

Ver9.271 Ver9.280 (H13.7.3)

(追加・改良)

- (1) ガントチャートのプロパティの「文字 1」タブへ「名称欄」を追加
ガントチャートの設備名称欄のフォーマット(特殊文字)を指定できます。
特殊文字で使用できるものは、設備に関するものだけです。
- (2) 製品ガントチャートのプロパティの「文字 1」タブへ「名称欄」を追加

製品ガントチャートの中間体名称欄のフォーマット（特殊文字）を指定できます。
特殊文字で使用できるものは、中間体に関するものだけです。

(3) 「レポート - 製造指図総括表」のプロパティの「文字 1」タブへ「名称欄」を追加
ガントチャートの設備名称欄のフォーマット（特殊文字）を指定できます。

特殊文字で使用できるものは、設備に関するものだけです。

(4) 「レポート - グラフ - 製品ガントチャート」のプロパティの「文字 1」タブへ
「名称欄」を追加

製品ガントチャートの中間体名称欄のフォーマット（特殊文字）を指定できます。
特殊文字で使用できるものは、中間体に関するものだけです。

Ver9.256 Ver9.271 (H13.6.21)

(追加・改良)

(1) 各種グラフウィンドウ（設備稼働率グラフ除く）アクティブ時の編集メニュー変更
・以下のコマンドの階層変更（「ソート」 「品目移動」(新規階層)）

「最上位行へ移動」、「1行上へ移動」、「1行下へ移動」、「最下位行へ移動」

(2) 待ち時間グラフウィンドウの画面保存のデータに品目の並び順及び、
品目の表示 / 非表示を追加した。

グラフウィンドウ毎に品目の並び順、品目の表示 / 非表示を設定可能で、
その状態を保存できます。品目数が変化すると保存状態は解除されます。

(3) 納期遅れグラフウィンドウの画面保存のデータに品目の並び順及び、
品目の表示 / 非表示を追加した。

グラフウィンドウ毎に品目の並び順、品目の表示 / 非表示を設定可能で、
その状態を保存できます。品目数が変化すると保存状態は解除されます。

(4) リードタイムグラフウィンドウの画面保存のデータに品目の並び順及び、
品目の表示 / 非表示を追加した。

グラフウィンドウ毎に品目の並び順、品目の表示 / 非表示を設定可能で、
その状態を保存できます。品目数が変化すると保存状態は解除されます。

(5) 「ウィンドウ - キャプション設定」コマンドの追加

各種ウィンドウのキャプションを変更できます。

この機能を使用するには、フィールド名称カスタマイズ機能オプションが必要です。

Ver9.249 Ver9.256 (H13.6.11)

(追加・改良)

(1) 設備稼働率グラフウィンドウの画面保存のデータに設備の並び順及び、
設備の表示 / 非表示を追加した。

グラフウィンドウ毎に設備の並び順、設備の表示 / 非表示を設定可能で、
その状態を保存できます。設備数が変化すると保存状態は解除されます。

(2) 設備稼働率グラフウィンドウアクティブ時の編集メニューの変更

・以下のコマンドの階層変更（「ソート」 「設備移動」(新規階層)）

「最上位行へ移動」、「1行上へ移動」、「1行下へ移動」、「最下位行へ移動」

- (3) 生産量グラフウィンドウの画面保存のデータに品目の並び順及び、品目の表示 / 非表示を追加した。
グラフウィンドウ毎に品目の並び順、品目の表示 / 非表示を設定可能で、その状態を保存できます。品目数が変化すると保存状態は解除されます。
- (4) 生産量累計グラフウィンドウの画面保存のデータに品目の並び順及び、品目の表示 / 非表示を追加した。
グラフウィンドウ毎に品目の並び順、品目の表示 / 非表示を設定可能で、その状態を保存できます。品目数が変化すると保存状態は解除されます。
- (5) 消費量グラフウィンドウの画面保存のデータに品目の並び順及び、品目の表示 / 非表示を追加した。
グラフウィンドウ毎に品目の並び順、品目の表示 / 非表示を設定可能で、その状態を保存できます。品目数が変化すると保存状態は解除されます。
- (6) 消費量累計グラフウィンドウの画面保存のデータに品目の並び順及び、品目の表示 / 非表示を追加した。
グラフウィンドウ毎に品目の並び順、品目の表示 / 非表示を設定可能で、その状態を保存できます。品目数が変化すると保存状態は解除されます。
- (7) 在庫グラフウィンドウの画面保存のデータに品目の並び順及び、品目の表示 / 非表示を追加した。
グラフウィンドウ毎に品目の並び順、品目の表示 / 非表示を設定可能で、その状態を保存できます。品目数が変化すると保存状態は解除されます。

Ver9.187 Ver9.249 (H13.6.5)

(追加・改良)

- (1) 標準ガントチャートウィンドウの画面保存のデータに設備の並び順及び、設備の表示 / 非表示を追加した。
ガントチャート毎に設備の並び順、設備の表示 / 非表示を設定可能で、その状態を保存できます。設備数が変化すると保存状態は解除されます。
- (2) 標準ガントチャートウィンドウの画面保存のデータにヒストグラムの並び順及び、ヒストグラムの表示 / 非表示を追加した。
ガントチャート毎にヒストグラムの並び順、ヒストグラムの表示 / 非表示を設定可能で、その状態を保存できます。ワークセンタ数、ワークセンタグループ数、リソース数が変化すると保存状態は解除されます。
- (3) オーダーガントチャートウィンドウの画面保存のデータにヒストグラムの並び順及び、ヒストグラムの表示 / 非表示を追加した。
ガントチャート毎にヒストグラムの並び順、ヒストグラムの表示 / 非表示を設定可能で、その状態を保存できます。ワークセンタ数、ワークセンタグループ数、リソース数が変化すると保存状態は解除されます。
- (4) 製品ガントチャートウィンドウの画面保存のデータにヒストグラムの並び順及び、ヒストグラムの表示 / 非表示を追加した。
ガントチャート毎にヒストグラムの並び順、ヒストグラムの表示 / 非表示を設定

可能で、その状態を保存できます。ワークセンタ数、ワークセンタグループ数、リソース数が変化すると保存状態は解除されます。

- (5) 製品ガントチャートウィンドウアクティブ時の編集メニューの変更
 - ・以下のコマンドの階層変更(「ソート」 「中間体移動」(新規階層))
「最上位行へ移動」,「1行上へ移動」,「1行下へ移動」,「最下位行へ移動」
 - ・名称変更
「全表示」 「全中間体表示」
- (6) 製品ガントチャートウィンドウの画面保存のデータに中間体の並び順及び、中間体の表示 / 非表示を追加した。
ガントチャート毎に中間体の並び順、中間体の表示 / 非表示を設定可能で、その状態を保存できます。中間体数が変化すると保存状態は解除されます。
- (7) 製品ガントチャートウィンドウへショートカットメニューを追加
- (8) オーダーガントチャートウィンドウの画面保存のデータにオーダーの並び順及び、オーダーの表示 / 非表示、工程の展開 / 非展開を追加した。
ガントチャート毎にオーダーの並び順、オーダーの表示 / 非表示、オーダーの工程の展開 / 非展開を設定可能で、その状態を保存できます。
オーダー数が変化すると保存状態は解除されます。
- (9) オーダーガントチャートウィンドウへショートカットメニューを追加

Ver9.123 Ver9.187 (H13.5.30)

(追加・改良)

- (1) 初期設定の「その他 5」タブへ以下を追加
 - 「製品在庫の引当てが不足している受注情報も納品可能日等の計算をする」
 - 「No」に設定した場合は、製品在庫の引当てが不足している受注情報に関しては、納品可能日、遅れ日数、出荷可能日の計算をしません。
現状:「Yes」(引当てられている在庫分のみで計算する)の状態です。
デフォルトは、「No」に設定しています。
- (2) ロットリストのロットサイズフィールドにゼロを許すようにした。
実績ゼロへの対応。
- (3) ガントチャートのロット編集ダイアログボックスで、実績数量にマイナスを入力した場合、実績数量をゼロを入力したとみなすこととした。実績数量にゼロを入力した場合は、(従来通り)計画数量を入力したと見なすこととした。
「ホスト - 実績取込」コマンドでは、従来通り実績数量はそのまま(ゼロも)入ります。
- (4) 原材料在庫リスト、製品在庫リストの納入予定数量にゼロを許すようにした。
実績ゼロへの対応。
- (5) 原材料在庫リスト、製品在庫リストの納入予定日にヌルを許すようにした。
実績ゼロへの対応。
- (6) オーダーの実績ステータスへ「中止」を追加
オーダーの全ロットの実績がゼロの場合、「中止」フラグとなります。
「計画数量再計算」コマンド実行時で自動的に判断されます。

- (7) 原材料在庫のステータスへ「中止」を追加 (半製品用)
途中の工程で中止となった半製品ロットに関して、ステータスが「中止」となります。
- (8) 製品在庫のステータスへ「中止」を追加
途中の工程で中止となったロットに関して、ロットステータスが「中止」となります。

Ver9.116 Ver9.123 (H13.5.24)

(追加・改良)

- (1) 各種テーブルウィンドウの検索・抽出画面での条件設定の改良
現状：1つのフィールドに関して、1つの検索文字しか対応できません。
新規：1つのフィールドに関して、複数の検索文字に対応できます。
各検索文字は、「|」で区切ります。(スペースを入れないで下さい。)
例：検索設定文字が「 | 」の場合、フィールドが「 」または「 」
と一致(等、始、終、含、無)するものを検索・抽出します。
COM 機能からの検索・抽出も同様に操作することが可能です。
- (2) 代替生産パターン指定&最終中間体がメインの生産パターンの中間体と違う場合で、
且つ、初期設定「オーダーの先頭 LotNo(C)をシリーズ・ロットに展開する」が「No」
の場合は、ロットの LotNo(C)へ「LotNo(N)」+「生産パターン名称」を展開
するようにした。
半製品&代替生産パターン、製品在庫オプション&代替生産パターンへの対応
- (3) ガントチャート特殊文字へ「%LLN」を追加
ロットの LotNo(N)を表示します。
- (4) ガントチャート特殊文字へ「%LLC」を追加
ロットの LotNo(C)を表示します。

Ver9.099 Ver9.116 (H13.5.14)

(追加・改良)

- (1) 初期設定の「その他 5」タブへ以下を追加
「特殊割付ロジック」(「タイプ 1」、「タイプ 2」より選択)
データにより、どちらかを選択して下さい。
データによっては、特殊割付の速度が大幅に違う可能性があります。
(データによっては、結果も違う場合があります。)
現状は、「タイプ 1」が選択された状態です。
- (2) 以下のマクロコマンドを追加
「ORDER_H_NOT_ASSIGN_DELETE」
書式：ORDER_H_NOT_ASSIGN_DELETE
[生産計画] - [オーダー] - [未引当て半製品オーダー削除+半製品在庫削除...]
コマンドを実行します。
- (3) 以下のマクロコマンドを追加
「ORDER_P_NOT_ASSIGN_DELETE」
書式：ORDER_P_NOT_ASSIGN_DELETE

[生産計画] - [オーダー] - [未引当て製品オーダー削除+製品在庫削除...]
コマンドを実行します。

- (4) ガントチャート特殊文字に「%OS」を追加
オーダーの工程間リソース (名称) を表示します。
- (5) ガントチャート特殊文字に「%OSW」を追加
オーダーの工程間リソース (名称 + 数量) を表示します。

Ver9.083 Ver9.099 (H13.5.7)

(追加・改良)

- (1) 以下のコマンドを追加

「生産計画 - オーダー - 未引当て半製品オーダー削除+半製品在庫削除...」

未引当ての半製品のオーダーとその半製品在庫を削除します。

再帰的な処理は行いませんので、データ連動の階層が複数の場合は、最大でその階層回のコマンドを実行して下さい。

- (2) 以下のコマンドを追加

「生産計画 - オーダー - 未引当て製品オーダー削除+製品在庫削除...」

未引当ての製品のオーダーとその製品在庫を削除します。

この機能を使用するには、製品在庫オプションが必要です。

- (3) 初期設定に「その他 5」タブを追加

- (4) 初期設定の「その他 5」タブへ以下を追加

「下位データ連動リスト転送時、半製品を含める」

「No」に設定すると下位データ連動リスト転送で半製品を含めません。(現状「Yes」)

- (5) 初期設定の「その他 5」タブへ以下を追加

「上位データ連動リスト転送時、半製品を含める」

「No」に設定すると上位データ連動リスト転送で半製品を含めません。(現状「Yes」)

Ver9.076 Ver9.083 (H13.4.25)

(追加・改良)

- (1) 工程名称マスターに「FW ロット開始遅れ時刻」テーブルフィールド追加

- (2) 工程名称マスターに「FW ロット開始遅れ先頭/毎」選択フィールド追加
選択肢 (「先頭」 or 「ロット」)

- (3) 工程名称マスターに「BW ロット終了早め時刻」テーブルフィールド追加

- (4) 工程名称マスターに「BW ロット終了早め最終/毎」選択フィールド追加
選択肢 (「最終」 or 「ロット」)

- (5) 初期設定「その他 4」タブへ以下を追加

「FW ロット開始遅れ時刻は、工程名称マスターを使用する」

「Yes」に設定するとFW ロット開始遅れ時刻は、工程名称マスターで設定したものが使用されます。(1 秒単位まで設定可能)

「No」に設定すると中間体マスターの設定 (1 時間単位) を使用します。

- (6) 初期設定「その他 4」タブへ以下を追加

- 「BW ロット終了早め時刻は、工程名称マスターを使用する」
- 「Yes」に設定するとFW ロット終了早め時刻は、工程名称マスターで設定したものが使用されます。(1秒単位まで設定可能)
- 「No」に設定すると中間体マスターの設定(1時間単位)を使用します。

Ver9.000 Ver9.076 (H13.4.20)

(追加・改良)

(1) 初期設定に以下を追加

- 「オーダー作成時、納期遅れの製品在庫を納期仕上と判断する」
- オーダー作成時、納期遅れの製品在庫を納期仕上と判断して新規オーダーを発生させないようにする
- 時系列最低在庫テーブルを使用している場合のみ、使用されます。

(2) 初期設定に以下を追加

- 「下位データ連動作成時、納期遅れの半製品在庫を納期仕上と判断する」
- 下位データ連動作成時、納期遅れの半製品在庫を納期仕上と判断して新規オーダーを発生させないようにする
- 時系列最低在庫テーブルを使用している場合のみ、使用されます。

(3) 生産パターンマスターの「後続工程接続タイプ」フィールドに「SSFF」を追加
前工程の開始と後工程の開始、前工程の終了と後工程の終了を関連付けます。

- (「SSFF」を選択すると後工程は前工程よりも遅く始まり、遅く終わります。)
- 現在のバージョンでは、クリティカルに対応できません。

(4) 「重み」ダイアログボックスへ「前後工程能力差最小化の重み」を追加
前後工程能力差が最小化になるような設備を選択します。

(5) スケジューリング画面「現在の割付設備を選択する」の隣にエディットボックスを追加
日時を設定します。日時を設定した場合、設定日時以前に生産を開始しているシリーズのみ、現在の割付設備を選択するようにした。

(6) 「ダイナミックディスパッチングの設定」ダイアログボックスへ「優先順位」タブを追加
各種優先順位の重みを考慮して割付を行います。

この他のバージョンアップ履歴に関しては、以下のリンクをご覧ください。

[APS/生産スケジューリングシステムPlanWizard](#)

[過去のバージョンアップ詳細履歴とリリース情報](#)

カタログ・製品紹介CDのお申込みは [こちら](#) から

[株式会社ウィザードシステム研究所](#)